

落札者評価基準

1 審査方法

システムの安定稼働及び費用対効果の観点から、価格評価点においては構築及び令和 1 1 年 3 月 3 1 日までの運用に係る総経費によるトータルコストを重視した配点、技術評価点においてはパッケージの標準機能を重視した配点とし、経費に関する評価点（価格評価点）と技術等に関する評価点（技術評価点）の合計得点により行う。

落札者は、企画提案書類審査、要求機能一覧の回答に基づく評価、プレゼンテーション（デモンストレーションを含む）審査及び経費見積書による審査での合計得点で最高得点を挙げた事業者の製品を最優秀システムとして選定する。同得点の場合は、経費見積書における見積金額合計額の低い方を上位とする。なお、企画提案書類審査及び要求機能一覧の回答に基づく評価を一次書類審査とし、上位 3 事業者（一次審査が同位多数の場合は、くじ引きにより 3 事業者を決定）をプレゼンテーション等審査の対象とする。ただし、一次審査における最上位評価を得た事業者と第 2 位以下の事業者の評価点に相当の差が生じた場合は、上位 3 事業者であっても以降の審査対象としないこともある。また、上位の事業者が辞退又は失格となったときは、次点の事業者の製品を繰り上げて審査対象とする。

	大項目	配点	項目	配点	審査段階	計
評価	価格点	250	経費見積書による審査	250	一次書類審査	1,000
	技術点	500	企画提案書に基づく評価	250		
			要求機能一覧の回答に基づく評価	250		
	プレゼンテーション	250	デモンストレーション等による審査	250	二次審査	

2 一次書類審査の評価方法

（１）経費に関する評価基準

「配点：250点」

経費見積書に関する得点については、次の価格審査計算式から算出する。また、小数点以下は第 1 位を四捨五入して算出する。評価の対象とする金額は、（表 1）年度別経費見積書の合計額とする。

【価格審査計算式】

価格審査の得点＝価格点の配点×全参加者中最低の年度別経費見積書合計額/当該参加者の年度別経費見積書合計額

（例）配点が250点、当該参加者の年度別経費見積書合計額が20,000,000円、全参加者中最低の年度別経費見積書合計額が

18,000,000 円の場合

$$250 \times 18,000,000 / 20,000,000 = 225$$

価格審査の得点は225点となる。

※見積もりの条件が著しく異なる場合は補正します。

（２）技術に関する評価基準

技術に関する評価点については、企画提案書及び要求機能一覧の回答を審査し、（３）及び（４）のとおりに評価点を付す。

（３）企画提案書に基づく技術評価点

「配点：250点」

選定委員は、下表「企画提案書評価基準」に基づき各審査項目に対して評価点を付し、次の計算式により算出された結果を得点とする。

ア 企画提案書評価（計算式）

技術評価の得点＝250点×（企画提案書に基づく技術点数/企画提案書に基づく技術点の満点（200点））

企画提案書評価基準

項番	審査項目	評価視点	評価基準	配点
①	業務体制図	・十分な技術と経験を持った技術者で組まれた体制であるか。 ・進捗に関する定期的な協議等について示されており、柔軟に対応できる提案であるか。	特に優れている	20
			優れている	15
			標準	10
			やや劣っている	5
			劣っている	0

②	調達機器の概要・機能	・調達が必要な機器類が漏れなく記載されているか。 ・機器の画像等が掲載され利用のイメージができるか。 ・設置スペースや使いやすさに配慮した機器が提案されているか。 ・十分な機能が備わっているか。	特に優れている	5
			優れている	3
			標準	2
			やや劣っている	1
			劣っている	0
③	システムの概要・機能①	要求機能一覧の中分類「券面等情報読取」に関する機能について、提案書で十分な詳細機能が提案されているか。	特に優れている	20
			優れている	15
			標準	10
			やや劣っている	5
			劣っている	0
④	システムの概要・機能②	要求機能一覧の中分類「統合宛名紐付」に関する機能について、提案書で十分な詳細機能が提案されているか。	特に優れている	20
			優れている	15
			標準	10
			やや劣っている	5
			劣っている	0
⑤	システムの概要・機能③	要求機能一覧の中分類「必要手続検索」に関する機能について、提案書で十分な詳細機能が提案されているか。	特に優れている	20
			優れている	15
			標準	10
			やや劣っている	5
			劣っている	0
⑥	システムの概要・機能④	要求機能一覧の中分類「申請書作成」に関する機能について、提案書で十分な詳細機能が提案されているか。	特に優れている	20
			優れている	15
			標準	10
			やや劣っている	5
			劣っている	0
⑦	システムの概要・機能⑤	要求機能一覧の中分類「業務・情報連携」に関する機能について、提案書で十分な詳細機能が提案されているか。	特に優れている	20
			優れている	15
			標準	10
			やや劣っている	5
			劣っている	0
⑧	システムの柔軟性・拡張性	・カスタマイズで追加できる機能は有意なものか。 ・制度改正への対応について明記されているか。 ・これらについて無償、もしくは少ない費用で対応できる提案であるか。 ・基本機能のリビジョンアップ、バージョンアップについて保守契約の範囲内で対応しているか。	特に優れている	10
			優れている	7.5
			標準	5
			やや劣っている	2.5
			劣っている	0
⑨	システムの全体構成及びネットワーク構成	・本市の基幹系業務システムとのデータ連携が可能な提案であるか。 ・導入時からシステム標準化に対応できるか。	特に優れている	5
			優れている	3
			標準	2
			やや劣っている	1
			劣っている	0
⑩	運用支援体制	・システム操作方法の職員研修について、回数、時間数、内容について明記され、十分なボリュームがあるか。 ・問い合わせ受付や障害対応等に係るサポートについて十分な体制が提案されているか。	特に優れている	10
			優れている	7.5
			標準	5
			やや劣っている	2.5
			劣っている	0

⑪	障害、システムダウン対策	・高負荷処理においてもシステムの性能を十分確保できる提案であるか。 ・システムの可用性確保の方法について、障害時、災害時の事前対策及び復旧対応について具体的提案があるか。	特に優れている	10
			優れている	7.5
			標準	5
			やや劣っている	2.5
			劣っている	0
⑫	個人情報保護対策、各種セキュリティ対策	・データの機密性・完全性を守る具体的かつ的確な提案であるか。 ・有害ソフトウェアやサービス妨害を監視し検知する等、セキュリティ対策が充分確保された提案であるか。	特に優れている	10
			優れている	7.5
			標準	5
			やや劣っている	2.5
			劣っている	0
⑬	その他有意な提案等	機能要件以外でも創意を凝らした提案があり、かつ、導入目的の達成に有効であるか。	特に優れている	10
			優れている	7.5
			標準	5
			やや劣っている	2.5
			劣っている	0
項番	審査項目	評価視点	評価基準	配点
⑭	導入スケジュール	作業工程ごとに明確にスケジュールが示され、稼働に向けて安全な計画であるか。	システム導入期間や検証期間が充分ある。	10
			無理のないシステム導入期間や検証期間である。	5
			システム導入期間や検証期間に無理がある。	0
⑮	自治体への取組、業務実績	提案対象のシステム及び導入形態は、自治体への導入実績があるか。導入自治体の人口規模も考慮する。	人口20万人以上の自治体の実績あり	10
			人口20万人未満の自治体の実績あり	5
			なし	0

(4) 要求機能一覧の回答に基づく技術点

「配点： 250点」

提案事業者が回答した各機能項目への対応可否について、次の計算式により算出された結果を技術点とする。

技術評価（計算式）

技術評価の得点 = 250点 × (要求機能一覧の対応可能数/要求機能一覧の項目数(75項目))

3 プレゼンテーション等（二次審査）の評価方法

審査はデモンストレーションを含むプレゼンテーション及び質疑応答に対して行う。

選定委員は、下表プレゼンテーション（デモンストレーション）評価基準」に基づき各審査項目に対して評価点を付け、次の計算式により算出された結果を合計得点とする。各選定委員の合計評価点の平均（小数点以下は第1位を四捨五入）を、審査対象事業者の二次審査に基づく得点とする。

ア プレゼンテーション評価（計算式）

プレゼンテーション評価の得点＝250点×（プレゼンテーション（デモンストレーション）に基づく評価点数/プレゼンテーション（デモンストレーション）に基づく評価点の満点（50点））

プレゼンテーション（デモンストレーション）評価基準

「配点：250点」

項番	審査項目	評価基準	順位	配点
①	システムの充実度	システムの機能、操作性、機器の扱いやすさ等総合的な充実度が高いか。	1位	10
			2位	5
			3位	2.5
②	システムの操作性	操作デモンストレーションの結果、手続受付、申請書作成、手続案内までの一連の作業を簡易的に操作できかつ明瞭な作りのシステムとなっているか。	1位	10
			2位	5
			3位	2.5
③	事業への理解・知識	伊勢崎市窓口整備計画を十分理解し、本市が求める課題解決手法（目的に応じた運用方法）が提案されているか。	1位	10
			2位	5
			3位	2.5
④	コミュニケーション能力	全体的に質問に対する回答が明快かつ簡潔であるとともに、デモンストレーションでは、専門的、技術的な表現を判りやすく伝えているか。	1位	10
			2位	5
			3位	2.5
⑤	取組み意欲・熱意	本業務に取り組む事業者及び担当者等の姿勢や意欲は信頼できるものであるか。	1位	10
			2位	5
			3位	2.5